

# カキ生育情報

千葉県  
平成22年6月号

## 【5月の気象】

平均気温は平年に比べ、第1、第2、第4及び第5半旬では0.3～1.2高く推移したのに対し、第3及び第6半旬では3.2～3.4低く推移し、月平均気温は0.7低かった。

降水量は平年に比べ第4、第5半旬でやや多かったが、その他の半旬では少なく、特に第1半旬ではほとんど降雨がなかった。月合計は119mmで平年より59mm(33%)少なかった。

日照時間は平年に比べ第1、第2及び第4半旬で多く、月合計は201時間で、平年より15時間(8%)多かった。

5月は4月に比べ天候が安定し晴れ間が多かったが、気温の乱高下が激しく、昼夜温格差が大きかった。

表1 平成22年5月の気象(暖地園芸研究所)

月	半旬	平均気温		最高気温		最低気温		降水量 mm		日照時間 hr	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
	1	17.2	16.5	21.5	20.4	12.9	12.8	0	22	47	30
	2	18.2	17.2	22.1	21.2	14.8	13.4	5	29	40	30
5	3	14.2	17.6	17.7	21.3	10.7	14.0	33	39	20	30
月	4	18.0	17.7	21.7	21.4	14.5	13.9	27	26	34	30
	5	19.6	18.4	23.2	22.4	16.3	14.6	38	32	30	31
	6	15.8	19.0	19.8	22.8	12.3	15.3	17	31	31	36
合計/平均		17.1	17.8	21.0	21.6	13.5	14.0	119	178	201	186

## 【樹の生育】

本年度の生育は、3～4月の天候不順の影響により遅れ気味に推移している。暖地園芸研究所の開花盛期は、西村早生が5月22日、松本早生富有が5月25日、富有が5月26日で平年に比べ2日ないし4日遅かった。また、開花期間は平年に比べ西村早生、松本早生富有では2～3日間短く、富有では逆に3日程度長かった。富有では第6半旬の低温の影響と思われる。当所における着花量は、西村早生では平年並～やや少、松本早生富有、富有では少であった。いずれの品種も新梢伸長は旺盛で、今のところ、病虫害の発生はほとんどない。ただし、強風により、新梢の枝折れや新葉の傷害の発生が多くなっている。

いすみ市の西村早生、市原市の松本早生富有では、樹の生育は遅れており、開花は昨年よりも4～7日程度遅くなった。着花量はほぼ平年並である。いずれも、今のところ目立った病虫害の発生はない。

表2 品種別開花日(平成22年)

品種	調査地	開花期(月・日)								
		始期			盛期			終期		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
西村早生	いすみ市	5.19	5.12	-	5.22	5.16	-	5.26	5.20	-
	暖地園研	5.18	5.13	5.14	5.22	5.15	5.18	5.25	5.18	5.23
松本早生 富有	市原市	5.21	5.16	-	5.24	5.20	-	5.30	5.25	-
	暖地園研	5.23	5.17	5.19	5.25	5.20	5.23	5.29	5.23	5.28
富有	暖地園研	5.22	5.18	5.20	5.26	5.21	5.24	6.2	5.24	5.28

注1)表中の平年の値は暖地園芸研究所における平成2年から20年間の平均値。

## 【6～7月の作業の要点】

### 摘果

摘果作業は、果実肥大を良好にし、花芽分化を促進して隔年結果を防止するので、早めに行いたい。生理落果が終了する6月下旬頃から始め、7月上旬頃までに終わらせるようにする。その際、果実、ヘタともに健全な果実を残し、上向きの果実は摘除する。

着果量の目安は、1果当たり葉数が20～25枚程度とし、葉が5枚以下の結果枝には着果させない。目標とする着果数は、10a当たりで西村早生が12,000果、松本早生富有が11,000果、富有が12,000果程度とする。幼果数の多い樹では、来年の着果を確保するために摘果作業は確実に行いたい。また摘果と同時に予備枝に使わない不定芽を摘除し、病害虫の発生を予防する。ただし、着花量が少ない園では、健全な果実でなくともできるだけ果実を着けておき、枝管理も必要最小限にとどめ、樹勢バランスを保つようにしたい。

不完全甘ガキの西村早生では、種子数が少ないと渋果になる。そのため、果頂部が凹んでいる果実は必ず摘果し、腰高の果実を残すようにする。ただし、8月中旬頃と収穫前の9月にも渋果を樹上選果するので、7月の時点では目標着果数より2割程度多め(10a当たり14,000～15,000果)に果実を残しておく。

### 病害虫防除

6月中旬から7月下旬まではうどんこ病、落葉病、炭疽病とカキノキマダラメイガやカキノヘタムシなどがガ類の防除時期である。ただし、西村早生では、使用する薬剤によっては薬害が生じるので十分注意する。

防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

### 《生育情報の問い合わせ先》

千葉県農林総合研究センター暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話 0470-22-2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>